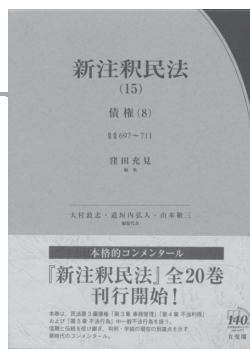


新注釈民法(15) 債権 8

窪田充見 編集
大村敦志 = 道垣内弘人 = 山本敬三 編集代表

2017年2月発売 / 984頁 / 本体10000円+税
A5判 / 上製箱入



編集 担当者 から

注釈書は、読者の皆さんが普段利用される体系書とは異なり、条文を出発点として、関連する判例・学説を整理し、その条文の客観的意味を明らかにすることをその役割としています。注釈書には、コンパクトに整理されたものもありますが、『新注釈民法』シリーズは、現時点の判例・学説を集大成して、民法の姿を的確に示すことを目的としています。

今回刊行した巻は、条文数は少ないですが、判例数が圧倒的に多く、理論的にも多様な考え方があるところです。それらの膨大な判例・学説を整理し、凝縮して解説されています。注釈書は、調べたい事柄について事典的に読まれることが多く、通読されることは少ないかと思いますが、精魂込められた解説を、ぜひ読み込んでいただきたいと思います。

続刊においては、債権法改正による新条文についての注釈も行われます。学習・研究の羅針盤として、お使いいただけることを願っています。(神田)

Index

I

『新注釈民法』は全20巻から成り、本巻が第1回配本です。

《本書の目次》

第3章 事務管理	697条～702条……………平田健治
第4章 不当利得	703条・704条……………藤原正則
	705条～708条……………川角由和
	不当利得の要件事実……………竹内 努
第5章 不法行為	709条
A	不法行為法に関する総説……………橋本佳幸
B	不法行為の成立要件……………橋本佳幸
C	不法行為の効果……………前田陽一
D	不法行為の種類
I	名誉毀損・プライバシー侵害等……………水野 謙
II	医療事故……………手嶋 豊
III	製造物に関する事故……………米村滋人
IV	公害・環境侵害……………吉村良一
V	交通事故……………山口成樹
VI	取引関係における不法行為……………後藤巻則
	一般不法行為の要件事実……………竹内 努
	710条・711条……………窪田充見

《新注釈民法(全20巻)の構成内容》

1	総則(1) 通則・人・法人・物
2	総則(2) 法律行為(1)
3	総則(3) 法律行為(2)・期間の計算・時効
4	物権(1) 物権総則
5	物権(2) 占有権・所有権・用益物権
6	物権(3) 留置権・先取特権・質権・抵当権(1)
7	物権(4) 抵当権(2)・非典型担保
8	債権(1) 債権の目的・債権の効力(1)
9	債権(2) 債権の効力(2)・多数当事者の債権及び債務
10	債権(3) 債権の譲渡・債権の消滅等
11	債権(4) 契約総則
12	債権(5) 贈与・売買・交換
13	債権(6) 消費貸借・使用貸借・賃貸借・借地借家法
14	債権(7) 雇用・請負・委任・寄託・組合・終身定期金・和解
15	債権(8) 事務管理・不当利得・不法行為(1)
16	債権(9) 不法行為(2)
17	親族(1) 総則・婚姻・親子(1)
18	親族(2) 親子(2)・親権・後見・保佐及び補助・扶養
19	相続(1) 総則・相続人・相続の効力・相続の承認及び放棄等
20	相続(2) 遺言・遺留分